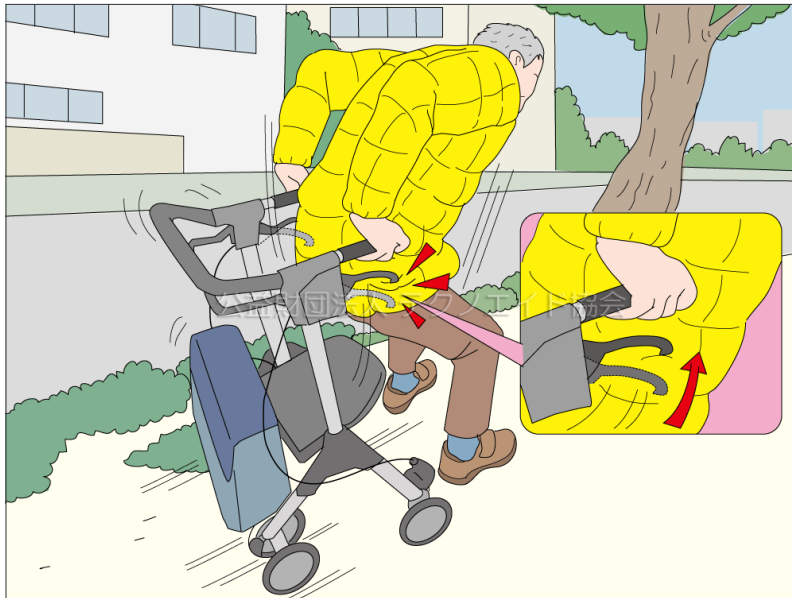


Case : 356

立ち上がる際にブレーキのロックが解除され転倒しそうになる

場面の説明

歩行車から立ち上がろうとして腰がブレーキにあたり、ロックが解除され、ふらつき転倒しそうになった



利用シーン

 立ち座り

主な利用場所

 その他

介護保険の種目

 歩行器

分類コード (CCTA95) 120606 (歩行車)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



解説

歩行車で座って休憩した後、立ち上がろうとして腰がブレーキにあたり、ロックが解除されてふらついてしまった事例です。歩行車の幅が狭い場合や、利用者がふくよかな場合、冬季で着ぶくれている場合などに、ブレーキレバーに引っかかりやすくなります。利用者がブレーキが外れる可能性を理解した上で、慎重に動作をする習慣が必要です。

参考要因

- 人：歩行車の幅が狭く、腰がブレーキに触ってしまった
- 人：リスクを予測して選定できなかった
- モノ：歩行車の幅が狭く、ブレーキレバーが引っかかりやすい
- 管理：導入の際の使用上の注意喚起が不十分だった